

第 3135 圖

てんぐさ科



おにくさ

Gelidium japonicum
(Harvey) Okamura.

體ハ纖維狀根ヨリ立チ、廣キ線狀ニシテ 1.5-2mm ノ幅アリ。中央ハ縦ニ厚ク、稍中肋狀ヲ成シ、兩縁ハ薄シ。不規則ニ羽狀ニ分岐シ、體ノ表面並ニ兩縁ヨリ密ニ小枝ヲ副出ス。質可ナリ強韌ニシテ小豆色ヲ呈シ、體表ニハ屢々石灰藻類附着セリ。本州中部ヨリ以南ニ産シ、干滿線間並ニソレヨリ深所ニ普通ナリ。寒天製造ノ際ニ原藻ニ混ゼラル。

第 3136 圖

てんぐさ科



ひらくさ

一名 ひらてん

Gelidium subcostatum Okamura.

纖維狀根ヲ有シ羽狀ニ線返シ分岐スル點ハまくさニ似タレドモ、體ノ各部總ジテまくさヨリモ大形ニシテ體長 15-35cm、時ニ 50cmニ及ビ、幅モ 2-5mmアリ、加之主枝ノ下部ニハ明ナル中肋アリ。四分胞子ハ單狀又ハ分岐セル細線狀ノ小枝ニ集マリ生ジ、囊果ハ卵形ニシテ小枝ノ頂端下ニ膨ル。質可ナリ強韌ナリ。房總ヨリ九州マデ産シ、干潮線下ノ可ナリ深所ニ生ズ。

第 3137 圖

てんぐさ科



おぼくさ

一名 がにくさ・どらくさ・よたくさ
Pterocladia tenuis Okamura.

體ハ外形まくさは酷似シ屢々ソノ區別困難ナルコトアリ。然レドモ本種ニ於テハ通常枝ノ基部ノ縊レ著シキヲ以テ區別スベシ。又囊果ハ本屬ニ於テハ一室、てんぐさ屬ニ於テハ二室ナルヲ以テ囊果ヲ有スルモノニ於テハ兩者ノ區別容易ナリ。次ニ體ノ内景ニモ差アリ。即チ兩屬トモ體ノ内部ハ稍大ナル細胞ト其間ニ存スル根様ノ細キ細胞絲ヨリ成ルモ、本種ニ於テハ此等ノ根様絲ハ中心組織ノ中央部ニ存スルニ比シ、まくさはニ於テハ皮下層ニ密集ス。各地ニ普通ニシテ干滿線間並ニソレヨリ深所ニ産ス。

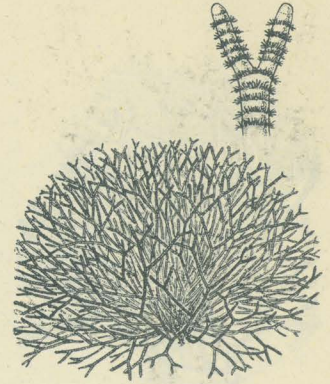
そでがらみ

Actinotrichia fragilis
(Forsk.) Boergesen.

體ハ高サ 5-10cm 許、圓柱狀ニシテ徑 0.8-1mmアリ、密ニ叉狀ニ分岐シ、叢ヲ成ス。枝端ハ鈍圓ナリ。體ニハ強ク石灰質ヲ沈澱シテ硬ク、短キ單條又ハ分岐セル毛ヲ輪生ス。但シ此等ノ毛ハ屢々脱落シ去リテ單ニ痕ノミヲ殘スコトアリ、特ニ體ノ下部ニ於テ然リ。色ハ通常淡キ紫紅色ヲ呈スルモ屢々黄色ガカリ、又ハ淡綠色トナル。房總邊ヨリ南部ノ海ニ産シ多ク干潮線下ニ生ズ。

第 3138 圖

がらがら科



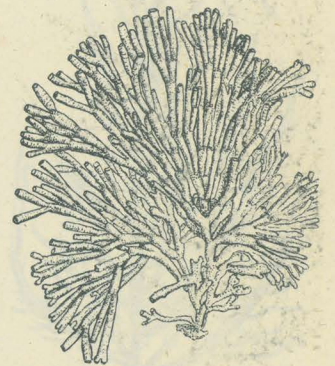
がらがら

Galaxaura fastigiata
Lamouroux.

體ハ高サ 10cm 内外、圓柱狀ニシテ徑 2mm 許アリ。線返シ密ニ叉狀ニ分岐シ、時ニ副枝ヲ發シテ繖房狀ヲ成スコトアリ。此等ノ分岐點ニ於テ體ハ多少縊レ、多ク關節ヲ成シ、後破ル。體ノ表面ハ平滑ナレドモ枝ノ上部ニ於テハ屢々輪狀ノ皺アリ。枝ノ先端ハ凹ム。體ニハ強ク石灰質ヲ被リ、乾燥セルモノハ特ニ脆ク、壞レ易シ。生時淡小豆色ヲ成スモ屢々黄綠色トナル。房總邊ヨリ以南ニ産シ、多ク干潮線下ニ生ズ。

第 3139 圖

がらがら科



ふさのり

Scinaia japonica Setchell.

體ハ小サキ盤狀根ヨリ直立シ、高サ 10-20cm、圓柱狀、徑 2-3mmアリ。數回線返シ叉狀ニ分岐シ、枝ハ皆同一ノ高サニ達ス。而シテ殆ド縊レズ。體ノ中心ニハ顯微鏡ノ細キ細胞絲集マリテ縦ニ走ル故、體ノ中軸ニ於テ肉眼ヲ以テシテモ細キ一本ノ線ヲ認ムルヲ得ベシ。質軟ク粘質ニ富ミ、通常美シキ血紅色ヲ呈ス。囊果ハ小サキ點狀ヲ成シ、體ノ各部ノ皮層ノ直下ニ生ズ。本州ヨリ九州ニ至ル各地ニ産シ、干潮線附近或ハソレヨリ少シク下部ニ生ズ。

第 3140 圖

がらがら科

